

横浜市立谷本中学校の学習評価活動について

1. 連絡票について

本校は、2学期制であり、連絡票を各学期末に作成し提示しております。年間1冊のファイルを配布し、そのファイルに、学期ごとの連絡票をファイリングする形式となります。

2. 評価・評定について

本校では、「観点別学習状況」及び「評定」について、次のように捉え、「目標に準拠した評価」をすすめています。

○各教科における評価

・「観点別評価」

各教科の全体の目標について観点（3観点）ごとに分析的な評価を行い、各教科ごとの目標に対して実現状況（達成度・到達度）を次のように5段階で示します。

- | | | |
|----------------|---|-------------------------------|
| A ^o | … | 十分に満足できると判断されるもののうち、特に程度の高いもの |
| A | … | 十分に満足できると判断されるもの |
| B | … | おおむね満足できると判断されるもの |
| C ^o | … | 努力を要するものと判断されるもの |
| C | … | 一層努力をようすると判断されるもの |

※到達目標設定が適切であるかどうか、各教科ごとに指導方法と絡めて評価していきます。

・「評 定」

各教科の「観点別学習状況」を基本的な要素として、それを総括して、各教科の全体の目標に対して実現状況（達成度・到達度）を総合的に次の5段階で示します。

- | | |
|---|---------------------------------|
| 5 | ：「十分満足できると判断されるもののうち、特に程度の高いもの」 |
| 4 | ：「十分満足できると判断されるもの」 |
| 3 | ：「おおむね満足できると判断されるもの」 |
| 2 | ：「努力を要すると判断されるもの」 |
| 1 | ：「一層努力を要すると判断されるもの」 |

○観点別評価から総括的評価の出し方

各教科の総括的評価を連絡票の評定欄に5・4・3・2・1の数字で記入します。観点別評価から評定の出し方は、県教育委員会が県内のすべての中学校に統一した方法を次のように示しました。

まず、観点別状況評価の結果を点数化します。

A^o（5点）、 A（4点）、 B（3点）、 C^o（2点）、 C（1点）

【観点別学習状況の評価】

組合せの代表例(合計値)	評定と規準
A° A° A° (15) A° A° A (14)	5 十分満足できると判断されるもののうち、 特に程度の高いもの (15点～14点)
A° A° B (13) A A A (12) A° B B (11)	4 十分満足できると判断されるもの (13点～11点)
A B B (10) B B B (9) B B C° (8)	3 おおむね満足できると判断されるもの (10点～8点)
B C° C° (7) C° C° C° (6) C° C° C (5)	2 努力を要すると判断されるもの (7点～5点)
C° C C (4) C C C (3)	1 一層努力を要すると判断されるもの (4点～3点)

○学習評価の観点

「知識・技能」

各教科などにおける学習の過程を通じた知識及び技能の習得状況について評価を行うとともに、それらを既存の知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活の場面でも活用できる程度に概念等を理解したり、技能を習得したりしているかについて評価するものである。

「思考・判断・表現」

各教科等の知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けているかどうかを評価するものである。

「主体的に学習に取り組む態度」

知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力などを身に付けたりするために、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど、自らの学習を調整しながら、学ぼうとしているかどうかという意思的な側面を評価するものである。